

▼理念条例3案の関係性について

◆【A】心の佐渡市民の日（仮称）

└ 三度のメシより佐渡が好き！！

【アンケート調査】佐渡市民 約100人に聞きました！

≡プレパブリックコメントのご報告

▼マイルストーン

平成n年度06月議会：パブリックコメント実施

平成n年度09月議会：議会上程、審議を経ての議決

平成n年度12月議会：補正予算で予算約100万円議決

平成n年度03月議会：平成n年度 3月10日

⇒第一回心の佐渡市民の日実施！

▼『佐渡準市民制度』の名称変更『心の佐渡市民』へ

57,000人 + 8,000人 + 50.4万人 という考え方
(佐渡市民) (佐渡準市民) (観光客)

◆【B】佐渡の地酒で乾杯条例（仮称）

└ 三度のメシより酒も好き！！

+ 佐渡版3010運動 = 310運動

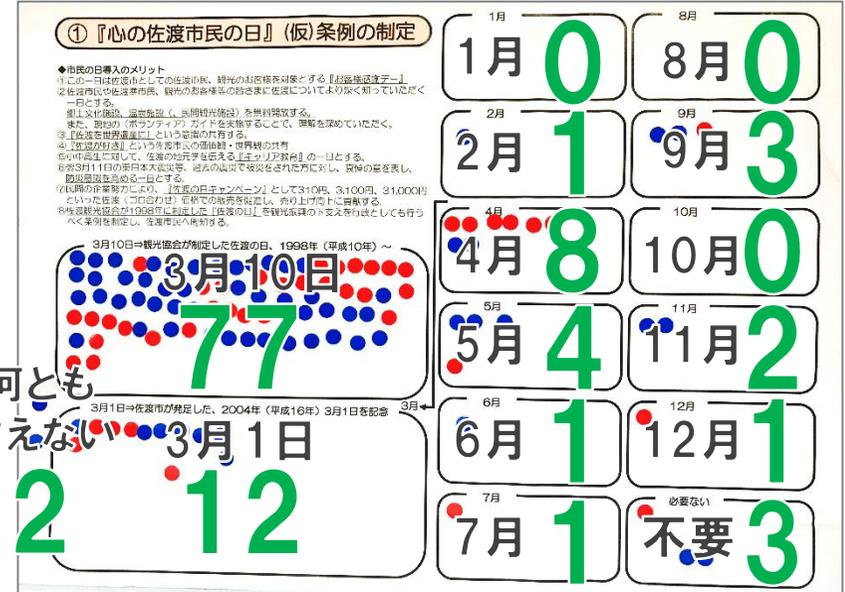
& 地産地消推進条例 ⇒さらに認知度と実績を向上

◆【C】心の佐渡市民おもてなし条例（仮称）

⇒ 本当は365日が心の佐渡市民の日

※佐渡市執行部と観光戦略官の作成したたたき台を活用する。

∴【A】 + 【B】 ⇒ 【C】 のイメージ



何とも
言えない
2 12



▼政治とは 理想の現実化 なのか 現実の理想化なのか

◆砂山を両方から掘っていくイメージ



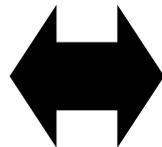
【出典】 <http://photozou.jp/photo/show/300557/35734367>



PPAP ならぬ RGGR

【出典】 youtube <http://rocketnews24.com/2016/10/12/811319/>

絵に描いた餅



餅も描かなければ
焼き餅も焼けない

◆ビジョンの共有 および 世界観の共有の重要性



神ってる!?上横山◎



【出典】 集落のプロモーションビデオのたたき台 (制作:スタジオマクワカ)

▼北緯38度線の可能性について①

◆世界の文明が生まれた奇跡の緯度！

- 韓国／北朝鮮の国境線として余りにも有名。
- 実は世界の文明が生まれた奇跡の緯度。
西洋文明発祥の地であるギリシャの首都アテネ、
メソポタミア文明、黄河文明も通過。

◆植生の南限・北限である奇跡の緯度！

- 佐渡国仲平野の真ん中を通過。
- 佐渡はリンゴとミカンの採れる寒暖両系の島。
まさに奇跡の島。

◆道路を活用した観光×アートとしての表現の可能性

⇒※右画像参照

【例】さどの島銀河芸術祭

▼2016年⇒プレイベント

※協同組合新潟県異業種交流センター [niks]

主催の地域活性化大賞 ⇒奨励賞を受賞◎

▼2017年⇒イベント

▼2018年⇒本祭



【例】河原田本町（かわはらだほんまち）



▼北緯38度線の可能性について②



▲【参考】秋田県大潟村にある東経140度、北緯40度の『経緯度交会点』モニュメント



▲北緯38度線は、島内約12カ所の道路を横断！『アワビに始まり、タコに終わる』【出典】FUJINAMI 株式会社富士波出版社

▼【導入】神奈川県逗子市議会&執行部の実績プレゼン



去る平成29年2月13日（月）午後、
タブレットセミナーに参加して参りました。

- 【演題】タブレットから始まるICT化と「開かれた議会」
【主催】東京インタープレイ株式会社(アプリSideBooks開発会社)
【会場】恵比寿ネオナート17F(東京都渋谷区恵比寿4-1-18)
⇒株式会社ティーガイア本社(通信機器の販売及び代理店)
【サイト】<https://sidebooks.jp/seminar/>

タブレット導入の先進自治体として、神奈川県逗子市議会の菊池議長と長島議員のご両名からご説明をいただきました。

- ・4年前の導入に伴い、市職員(議会事務局)の労務費削減が実現。
- ・議員人数分の紙資料をそろえたり、修正や差し替えしたりという膨大な作業が大幅に削減。
- ・通信費は微々たるもの。4回の定例会のうち、2回の定例会が終わった時点で、ほぼプラスに転じるとのこと。
- ・情報公開条例により、情報公開が進んでいる。そのため、万が一落として第三者に見られたとしても困る情報はない。
- ・紙＝悪ではない。予算書、決算書、委員会採決賛否等は、紙でも配布している。議員が自身で白黒印刷することも可能。
- ・個人別フォルダがあるため、一般質問の配布資料をデータ共有することもできる。(現状は使用していない。)
- ・同じページを見る同期機能もあるし、教え合いながら慣れた。
- ・議会で活用していることを示せば、市民の方もご納得される。
- ・検索機能がかなり便利で、すぐに関連資料が見られる。

▲神奈川県逗子市議会のプレゼンテーション

【目的設定】

神奈川県 逗子市議会&執行部 [H25.5導入]



[目的] コストの削減

[目的] 議会活性化とICT活用



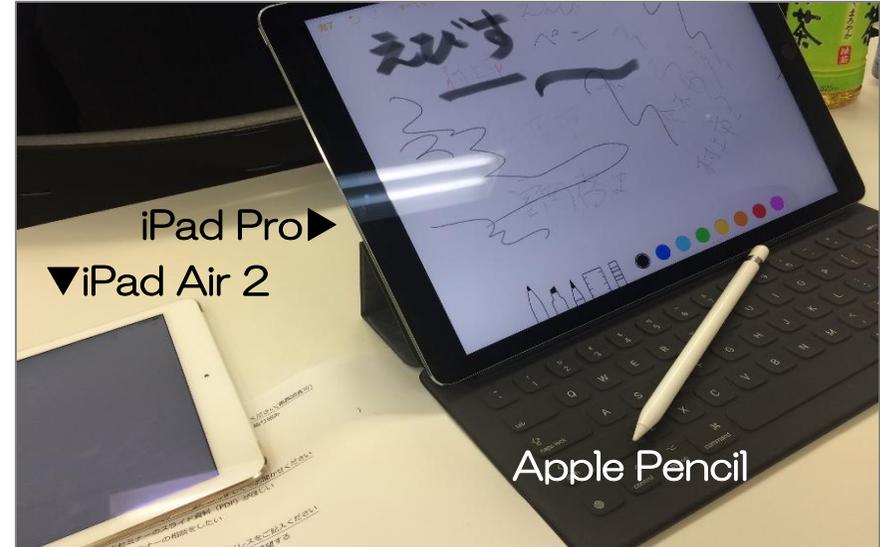
- 例規集など加除式図書を廃止
- 議案の印刷配布を廃止
- 紙資料を用いない議会運営

「議員と市幹部職員にiPadを導入、
”タブレット議会”に移行した逗子市」より
<http://news.mynavi.jp/series/iphoneipadkatsuyo/157/>

【出典】東京インタープレイ株式会社

▲コスト削減、議会活性化、ICT活用を実現

▼【画像①】タブレットの使用感および導入のメリット



▲紙をめくるように次ページへ（裏写り機能あり）

▲手書きの感覚に近いApple Pencil（太さ・色変更可）

【導入効果】
電子化資料のインターネット公開

長崎県 諫早市議会[H27.5導入]では、電子化した資料の一部をインターネット上で公開している。

SideBooks Cloud

議会本棚の掲載内容

- ・ 諫早市議会だより
- ・ 議会報告会
- ・ 議会基本条例の検証結果
- ・ 議長交際費
- ・ 議案・その他資料

諫早市議会のWebサイトより
<http://www.city.isahaya.nagasaki.jp/post01/31161.html>

・ 東京IPの「自治体の本棚」サービスをご利用いただいています

・ 議会だよりや議案書だけでなく、政務活動費の領収書など大量の文書を効率よく公開できます

・ 簡単な操作で更新できます

【概論】
タブレット導入は「手段」である

- ・ タブレットにはさまざまな役割（機能）があるが、あくまでも役割であって「目的」ではない
- ・ タブレット導入は「手段」として考えるのが妥当
- ・ 議会における「目的」は4つある

①・ 労務改善と効率化 ⇒ 事務局&執行部への貢献

②・ 審査力の充実 ⇒ 議員ひいては市民への貢献

③・ 調査能力の充実 ⇒ 議員ひいては市民への貢献

④・ 情報の蓄積と活用 ⇒ 情報を活用する人への貢献

【出典】東京インタープレイ株式会社

▲長崎県諫早市議会HP『議会本棚』※市民も閲覧可

▲タブレット導入は、手段。目的は上記4つ。

▼【画像②】 タブレット導入による地方自治体の好事例

【出典】東京インタープレイ株式会社

【導入効果】
事前共有と携行で「読込度」が向上

栃木県 大田原市執行部[H27.4導入]では、幹部会議のペーパーレス化によって会議進行にも変化があった

資料の事前共有によって、会議の**準備がすぐに終わる**ようになった。さらに、あらかじめ資料をチェックできるおかげで**会議時間が25%ほど短くなった**

大田原市情報政策課・菊池さん

▲会議準備および会議時間が短縮（栃木県大田原市）

【導入効果】
連絡の速達化・省力化

兵庫県 丹波市議会[H27.4導入]では、タブレット導入と同時に従来のFAX連絡を原則廃止した

タブレット導入後に早速、**FAX連絡をメールに切り換えた**。多いときに毎月200～250枚ほど送っていたものが、現在は毎月10枚以下に収まっている

丹波市議会事務局・藤浦さん

FAXトラブルは枚挙に暇がない…

- 用紙切れ、通話中、ケーブル抜けなど送信失敗
- 一斉送信に長い時間がかかる
- 外出先で受け取るのが難しい

▲タブレット導入後にFAXが約1/20に減（兵庫県丹波市）

【導入効果】
導入効果(1) 行政事務の効率化

市から議員への情報展開 **導入後**

逗子市役所 事務局

クラウドサーバ

瞬時に全議員への展開が可能

効率化

- 常に正確な情報を共有できる
- 印刷業務が大幅に減った
- 連絡業務が効率化した

▲全議員へ迅速な情報共有が可能（神奈川県逗子市）

【導入効果】
過去資料の検索によって審議が深化

島根県 出雲市議会[H26.12導入]では、会議中、審議中のインターネット検索等の利用許可を明文化した（現在では「禁止」事例は少ないが、当時明文化していた事例は珍しい）

委員会中に過去の議会資料の閲覧やインターネットでの検索等が可能となったことにより、議員の質疑等の精度が向上し、**審議の深化**につながっている

出雲市議会事務局・山内さん

情報が即座に届くことで、情報を吟味する時間的な余裕が生まれる。これによってタブレット導入以前よりも「深い議論が行われている」という報告が多数ある

紙では「検索」自体ができない。「検索できること」は電子化の副次効果としては最も大きなメリットといえる

▲審議中のインターネット利用により審議が深化（島根県出雲市）

▼【画像③】 その他のタブレット導入のメリット

【出典】東京インタープレイ株式会社

【概論】

タブレットの役割(3) - 記録装置

これまででは情報の種類ごとにたくさんの記録装置が必要だったが、タブレットなら何でも記録できる

- パソコンがなくても文書作成ソフトが使える
- 写真・ビデオ
- カーナビ・地図
- 録音・再生

【導入効果】

ペーパーレス化の促進

- 紙資料の配布枚数は、大方の予想を上回るペースで減少している
- 印刷業務に伴う労務も同様に大きく減少している

試行後のタブレット運用状況

安城市議会

タブレットの利用状況

芽室町議会

▲カメラ・マップ・レコーダー・メモ機能等が便利

▲ペーパーレス化による印刷費削減<<準備の労務費削減

【概論】

タブレットの役割(2) - 連絡手段

多くの導入事例において、タブレットは重要な連絡手段に位置づけられている

伝達が早い、確実性が高い、場所を選ばず情報を受け取れるといった要素から、広域災害時にも活躍が見込まれる

遅い、手間がかかる

速達性、利便性が向上

【導入効果】

資料携行と地域のコミュニケーション

すべての資料が手元があれば、とっさの質問にも正確な情報をもとに答えることができる

今回はすべてタブレットに資料が入っているので、質問を受けてもすぐに資料を探して説明ができる

市政報告を行う安城市議会・武田文男議員 (地元ケーブルTV取材)

▲メールやチャットでのやりとりが可能⇒災害時にも

▲質問への正確な情報による迅速な回答⇒市民への貢献

▼①佐渡市民全員佐渡アイランド集落ツーリズム大使化構想

9

◆観光親善大使とは・・・ 【出典】wikipedia
象徴的、広報的な役職であり、イメージキャラクターの性格を帯びる場合も多く、ジャーナリストや作家、芸能人などからも選ばれることがある。



◆Sado Tourism Ambassadorとは・・・
佐渡の観光親善大使(名誉職)：2名(平成29年3月現在)
【監督】油谷誠至さん 映画「飛べ！ダコタ」監督
【俳優】哀川 翔さん 映画「Zアイランド」主演

◆佐渡アイランド集落ツーリズム大使とは・・・

【例】熊野古道の観光協会の方の言葉 『あなたが世界遺産です！』

市民が主役の佐渡市政 【過去】行政⇒市民にサービスを施す から 【未来】行政⇄市民 協働 へのシフト

▼佐渡市民の方に佐渡の集落の魅力を島外の方に向けて情報発信をしていただく(ボランティア)。

- ・①SNSで『佐渡アイランド集落ツーリズム大使』の称号を名乗っていただく。
- ・②メール用の『佐渡アイランド集落ツーリズム大使』署名を佐渡市のWEBサイトで公開し、活用していただく。
- ・③2月の冬期にハガキを10人枚配り、島外のご家族・ご親戚・お友達等の気持ちを届けたい方へ郵送。

52円×57,000人×10枚/人=2,964万円!!! ≡ 住民投票1回分

⇒お手紙を書く文化再隆盛のための全国の先進事例としてJPのCSR(企業の社会的責任)事業にできないか!?

『人生は夢だらけ』のキャッチコピー、新潟県上越市出身の前島密氏(日本郵政の父と言われ、1円切手の肖像)

※10枚を超える分は、佐渡市内の郵便局で52円で販売して購入できるようにしてはどうか。

※推し集落、略して『推し集』を書いていただく。⇒AKBのファンによる推しメンバー、略して『推しメン』

※集落のキャッチフレーズ例：神ってる! ? 上横山、い~わ岩首、和木あいあい、宿根木Negi、良かマチ四日町 etc

- ・ハガキを提示すると、佐渡準市民と同等の割引サービスが受けられるようにして、4月以降の来島を促進する。

- ・協力率50%として、57,000人×10枚/人×50%=285,000通⇒52円/通だと1,482万円!

ハガキを受け取った方の来島率=コンバージョン率0.5%として⇒285,000通×0.5%=1,425組!

1組平均2名、滞在客単価20,000円とすると⇒1,425組×2名×20,000円=5,700万円のお金が佐渡に落ちる! ?

▼②佐渡市職員全員スーパー公務員化構想

◆スーパー公務員とは・・・

【出典】wikipedia

21世紀型の理想的な公務員像とされる存在の通称のこと。

ローマ法王にお米を献上した、羽咋（はくい）市職員の高野誠鮮（じょうせん）さんのことを立川志の輔さんが『スーパー公務員』と命名したのが始まりと言われている。

神子原（みこはら）地区の棚田で作られるコシヒカリを「神子原米」としてブランド化し、限界集落を救った取組みで知られている。



◆佐渡市職員全員スーパー公務員化構想とは・・・

下記の5項目を日々実践する佐渡市職員を全員にすること

仕事

仕事

仕事

仕事

仕事

6日目の活動

休暇

①6日目の活動（※仕事ではない活動）

⇒集落ツーリズムを行い、集落で時を過ごす、お金を落とす。集落の祭りや消防団活動等に参加し地域に貢献する。
佐渡島内で数多く開催される、イベント・セミナー・勉強会等に積極的に参加し自己研鑽に励む。

cf.トヨタ自動車のカイゼン活動、google社の20%ルール（1/5の業務時間は、本来の業務以外の取組みを認める）

②電話応対、接客応対、高いITリテラシー、タッチタイピングができる（手書きが面倒くさいというレベル）。

③相手に分かりやすい資料作成、本当の意味で説明責任を果たすことができる佐渡市職員。

⇒映画『県庁の星』より引用：『公務員は資料作れてナンボ』

④佐渡市民の役に立つ佐渡市職員。

⇒ドラマ『ナポレオンの村』より引用：『役人は人の役に立ってこそ役人』

⑤マインドフルネス瞑想を実践し、健やかな心と体を保つことのできる佐渡市職員。

⇒毎日3時10分に3分間瞑想する！

▼およそ1200人のスーパー公務員として燦然と輝く皆さんが、『6日目の活動』を行うと1年間で・・・

4日/月×12カ月=48日 ⇒ 1200人×48日=57600人日/年 ものマンパワーが生まれる！

▼③佐渡市長経験者**全員**終身名誉佐渡市長化構想

◆読売巨人軍の長嶋茂雄終身名誉監督とは・・・【出典】wikipedia
 名誉監督（めいよかんとく）とは、監督の職を退いた人に贈られる名誉職または名誉称号のこと。現在、プロ野球界で名誉監督の称号を贈られたのは全球団で長嶋茂雄と野村克也のみである。2001年9月28日に読売ジャイアンツから長嶋茂雄の終身名誉監督の就任が発表された。

◆初代、二代目、（三代目、）終身名誉佐渡市長
 首長経験者の方は、豊富な行政経験を持ち、官民間わす素晴らしい人脈をお持ちである。そこで、佐渡市長経験者の方に任命書と名刺とを佐渡市が発行し、終身名誉佐渡市長として名刺をお配りいただくことで、佐渡市と協働いただけそうな人材を佐渡市に対してご紹介いただくというもの。

任命書、名刺支給：3枚×365日/枚＝1,095枚 @20円
 ⇒ 21,900円/年・人 ⇒ 43,800円/年・2人

※佐渡市、シマイル、佐渡観光協会等の検索ワード、URLなどが書いてある。

⇒市長経験者の人脈で人と人とがつながっていく。

江戸、越後、佐渡の人がつながっていく。

⇒この施策を集落や民間企業へも波及させる
 社長、会長職を退いた方、元区長etc



三条市
 SANJO CITY
 豊かな自然に恵まれた
 歴史と文化の息づく
 創意にみちた ものづくりのまち

平成28年度 春・夏のイベント&グルメ

- ① 4月29日(金・祝) 庭園の郷 保内 オープン
- ② 5月14日(土)・15日(日) 三条祭り
- ③ 5月15日(日)～31日(火) 越後三条・高城ヒメサユリ祭り
- ④ 6月4日(土) MT.AWA VERTICAL KILOMETER
- ⑤ 6月4日(土)・5日(日) 三条凧(いか)合戦
- ⑥ 6月12日(日)～26日(日) 花菖蒲まつり
- ⑦ 6月18日(土)・19日(日) 三条クラフトフェア in 槻の森
- ⑧ 6月下旬～11月上旬 秘境八十里越体感バス
- ⑨ 6月下旬～11月中旬 笠堀ダムかさ上げ工事現場見学
- ⑩ 8月5日(金)～7日(日) 三条夏まつり
- ⑪ 8月19日(金)・20日(土) キッズエア マイスター フェスティバル in 三条



アクセス
 東京から
 燕三条駅まで新幹線で約2時間
 三条燕10まで車で約3時間30分

六斎市
 ～ 通年開催 ～
 二・七の市 (2と7のつく日)
 五・十の市 (5と0のつく日)
 ～ 開催日時 ～
 4月10日(日)・5月8日(日)
 6月12日(日)・7月18日(月・祝)

三条をもっと詳しく
 知りたい方はこちら！
 「三条市定住ねっと」

▲三条市長発案の『三条市の観光名刺』
 ⇒三条市職員**全員**に配布し、三条の魅力をもPR中！

▼①～③は『全員』がキーワード、費用対効果について

◆平成28年4月から参加することとなった、『議員**全員**協議会』という会議の名称から感じること

【1】みんなで協議するという『**全員**』という言葉が良い。

【2】参加者は、議員全員と執行部の一部の方なので、全然執行部の『**全員**』参加ではない。

◆『決算審査特別委員会』の委員をやってみて感じること

行政において『費用対効果』が高い施策はレアケースである。

【例】広報戦略官：二年間で1,300万円の人件費・経費に対して、単純計算で3億4,500万に相当する発信効果！
一方で、水道事業、道路等生活インフラの整備、社会医療福祉、子育て支援等については、
『費用対効果』が低いからと言っても、やめるべきではない。

∴佐渡市の行政運営は『費用対効果』のみでは測れないが、『費用対効果』の高い施策を増やしていくべきである。

①佐渡市民**全員**佐渡アイランド集落ツーリズム大使化構想

⇒【費用】ほぼゼロ円～3,000万円/年

【効果】ハガキを受け取った方の来島により、5,700万円/年のお金が佐渡に落ちる！？

②佐渡市職員**全員**スーパー公務員化構想

⇒【費用】ほぼゼロ円

【効果】1200人が『6日目の活動』を行うと1年間で57600人日/年
ものマンパワーが生まれる！

③佐渡市長経験者**全員**終身名誉佐渡市長化構想

⇒【費用】ほぼゼロ円～5万円/年

【効果】佐渡市と協働いただけそうな人材をご紹介いただくことで、
佐渡市の持つ人的リソースが充実！



▲配布ハガキのイメージ例

▼分かりやすい説明＝本当の意味での説明責任を果たす

◆庁舎説明会の配布資料⇒説明責任を果たそうという気持ち、
分かりやすく伝えるための遊び心が足りないのではないか？

【評価できる点】総合80点

①60点：分かりやすい文章

②10点：読みやすいフォントを選択

『HG丸ゴシックM-PRO』を選択している

③10点：番号がふってある

整理することの大切さ、分けると分かる。

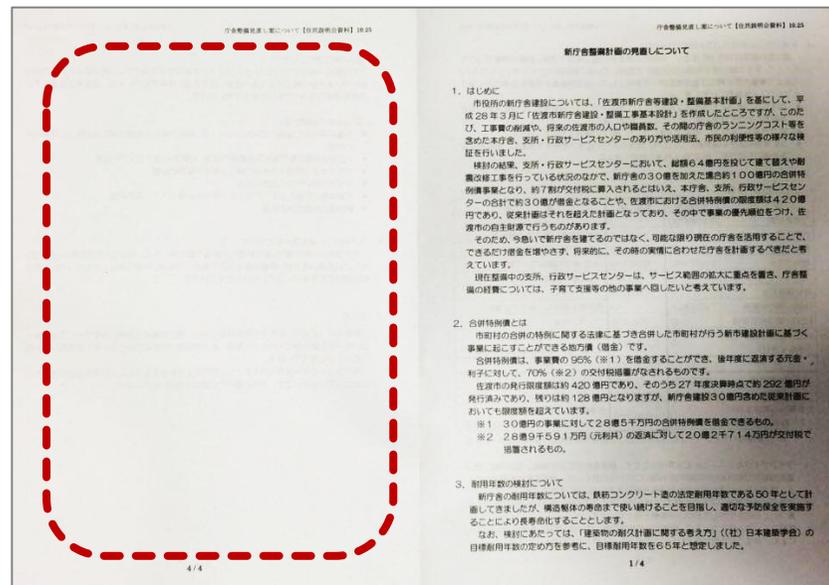
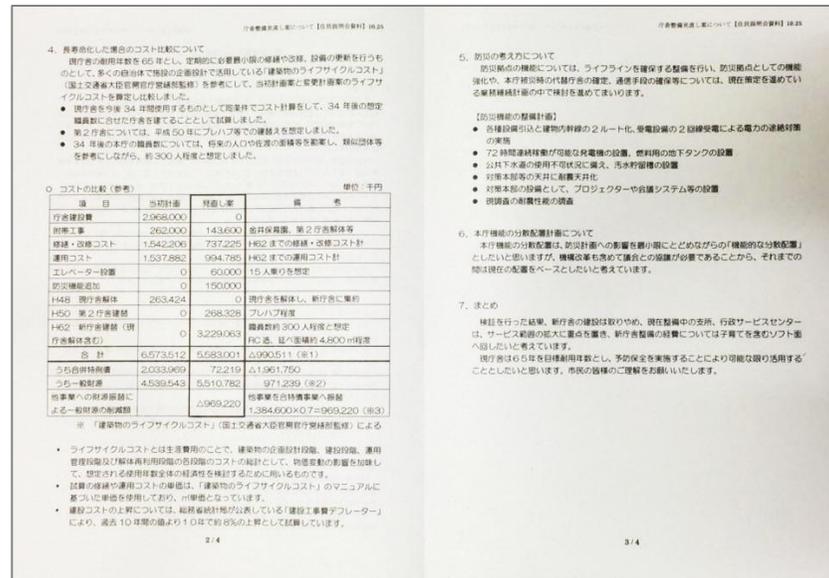
【評価できない点】

①文字が並んでいて、文章以外は表1つに留まっている。

②合併特例債の使用限度額：420億円を
あふれることのビジュアルイメージがない。



【出典】 <http://amanaimages.com/info/infoRF.aspx?SearchKey=10272001347>



【出典】 佐渡市作成：新庁舎整備計画の見直しについて

▼佐渡における『相乗り』システムの導入について

◆新しい『相乗り』の政府議論について

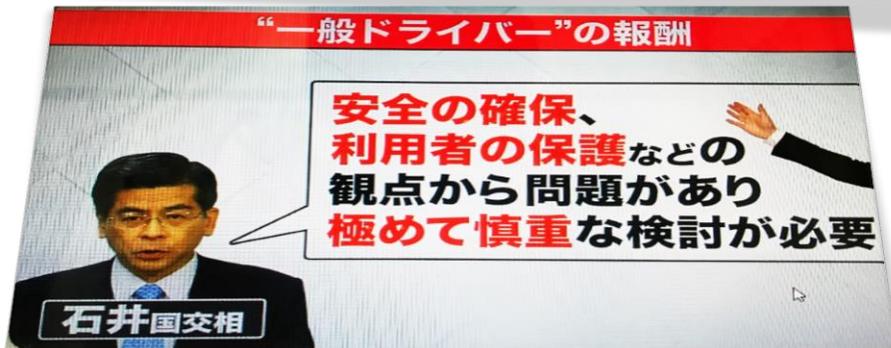
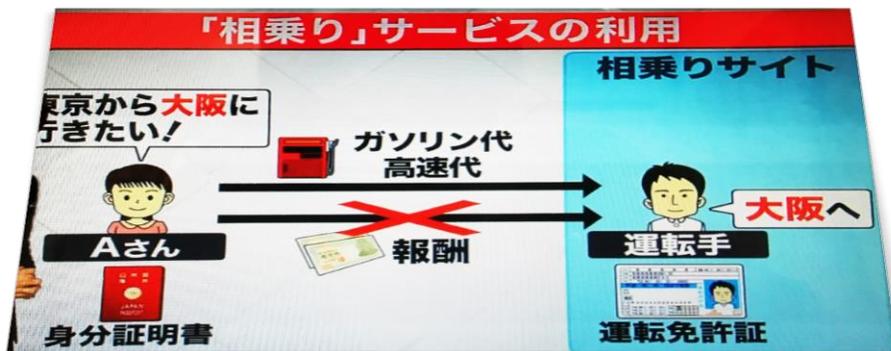
佐渡市は、人口が密集している東京23区とは異なり、隅々まで公共交通網を張り巡らせるということが難しい。
⇒高齢者等の交通弱者、買い物難民の方のための相乗りシステムの導入が必要である。

▼過疎地など登録すれば自家用車を使ってサービスを提供できる。 【例】NPOがんばらまいか佐久間

▼ドライバーが報酬を受けとれるか否か？

相乗りサービスの場合、ガソリン代や高速代はOKだが報酬を受け取ることはNGとなる。
石井国土交通大臣は、一般ドライバーの報酬について安全の確保、利用者の保護などの観点から問題があり、極めて慎重な検討が必要との見解を示している。

※政府の会議は、2017年6月までに答申を出す方針



【出典】2017年2月22日（水）放送 日本テレビ every. 『ぷらまいッ』コーナー

▼モノの見方、ヒトと接する考え方について

◆地球の表面について ⇒ 陸地：29.2%、海洋：70.8%

地球の一周：40,000km、地球の半径：6,400km、地球の表面積：5.1億km²



佐渡→



←佐渡

地球は、海ばかり！？

Think Globally,
Act Sadocally

地球は、陸ばかり！？

Google 画像 ©2016 Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO, Landsat, PGC/NASA, U.S. Geological Survey, IBCAO, 地図データ ©2016 Google, INEGI